

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)小山圭子様老人ホーム 新築工事	階数	地上3F
建設地	相模原市南区上鶴間本町7丁目574番1の一部、575番	構造	S造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	90人
気候区分		年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2014年4月18日
敷地面積	2,362 m ²	作成者	大和ハウス工業東日本中高層技術センター
建築面積	1,005 m ²	確認日	2014年4月18日
延床面積	2,627 m ²	確認者	大和ハウス工業東日本中高層技術センター



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★☆☆☆☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 参照値: 100%
 建築物の取組み: 81%
 上記+: 81%
 上記+: 81%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
LED照明器具の採用や節水器具の採用など、省エネルギー性能や効率的な水資源の使用に配慮した計画である。また、非常用発電機を備えるなど、非常時に対する対策を備えた施設計画である。	特になし	
Q1 室内環境 ・内装材の70%程度にF の材料を使用している。 ・全館禁煙を実施し、非喫煙者に配慮している。	Q2 サービス性能 ・耐用年数に配慮した内外装材を使用している。 ・非常用発電設備を備え、災害時の機能維持に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・高さをおさえた計画とし、周囲との景観調和に配慮している。 ・バルコニーによる中間領域を形成している。
LR1 エネルギー ・断熱性能に配慮した計画としている。 ・LED照明器具を採用し、高効率なエネルギー利用に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・主要水栓の過半に節水型機器を採用している。 ・躯体+LGS工法により解体時の分別が比較的容易である。 ・全てノンフロン(A種)の断熱材を使用。	LR3 敷地外環境 ・利便性に配慮した駐車場や駐車スペースを適切に確保している。 ・屋外照明の光害に配慮し、広告物照明は特になし。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される